

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29408	障害児保育	渡辺 令子	2年次・通年	演習・2単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
<p>障害児等特別な配慮を要する子どもについて、特性の基礎的知識や心身の発達の状態を理解し、それに応じた援助方法を理解し習得する。保育所における障害児等を含む集団保育を行う上で、対象児と周囲の子どもたちの双方にとっての保育のあり方として、保育の内容・方法・配慮等について自ら考察することができるようにする。障害児等の保護者・家族への支援、障害児に関わる教育・保健・医療・福祉施策と地域連携の現状や課題について理解する。授業者は知的障害児通園施設、児童虐待相談・対応、保育所等の相談支援の実務経験に基づき、具体的な事例をあげながら授業を実施する。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
障害児保育の基本と歴史の変遷について学び、障害児とその保育について理解する	A-① B-②
障害の種類と援助の技術や方法について学び、個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解し、自分の考えを表現できるようになる	A-① C-②
障害児や特別な配慮を要する子どもの個別の支援計画の必要性和作成について理解する	A-② C-②
障害児の保護者や家族への支援や障害児に関わる教育・保健医療・福祉施策と地域連携の現状や課題について理解する	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	40%	講義内容の理解と考察力を評価
レポート試験 Report Examination	40%	講義内容の理解と考察力を評価
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業態度と意欲

教科書 / Textbooks
『学ぶ・わかる・みえるシリーズ 保育と現代社会 演習・保育と障害のある子ども』 みらい 野田敦史・林恵編を使用する。また補足資料や演習プリントを配布する。

参考書 / Reference Books
『保育所保育指針』『保育所保育指針解説書』『障害児保育ワークブック』(星山麻木編著 萌文書林)『星と虹色なこどもたち』(星山麻木著 学苑舎)

予習・復習 / Preparation・Review
福祉に関わる行政の取組や乳幼児に関する社会問題などにアンテナを張り、マスメディアやSNSの発信する情報に関心をもち、必要な情報はプリントアウト、ファイリングをするなど情報収集に心掛けること(予習復習は90分程度)。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
授業において提出を求める課題(演習ワーク・レポート)の結果については、次の授業時に全体に向けてフィードバックを行う。試験の結果については、試験後の授業にてフィードバックする。

その他 / Others
福祉に関わる行政の取り組みや乳幼児に関する社会問題などにアンテナを張り、マスメディアやSNSの発信する情報に目を通す習慣をつけるようにすること。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	<b>授業オリエンテーション・障害児保育を学ぶみなさんへー最初に考えて欲しいことー</b>
	前・後期の授業内容と目標を理解する。「障害」「障害のある子ども」「気になる子」について大切にしたいことを理解する
02	<b>障害児保育のあゆみと今求められる障害児保育</b>
	障害児保育のあゆみを概観し保育所保育指針から今求められる障害児保育について理解する
03	<b>障害児保育の基本と合理的配慮に関する理解</b>
	障害児保育の基本を学ぶ。障害児との関わりから必要な合理的配慮を考える
04	<b>発達と障害</b>
	発達とその原動力、乳幼児期の発達特性、障害が乳幼児の発達に与える影響、保育の中での気づきについて理解する
05	<b>肢体不自由・視覚障害・聴覚障害の理解と援助</b>
	肢体不自由・視覚障害・聴覚障害・知的障害のある子どもの特性とその保育・援助について理解する
06	<b>知的障害の理解と援助</b>
	知的障害のある子どもの特性とその保育・援助について理解する
07	<b>障害のある子どもへの保育の工夫</b>
	障害のある子どもの個々の特性に合わせた遊びを工夫して考え、援助する方法を実践する
08	<b>発達障害児の理解と援助(1) (自閉症スペクトラム症・PDDー広汎性発達障害)</b>
	自閉症スペクトラム症・広汎性発達障害のある子どもの特性とその保育・援助について理解する
09	<b>発達障害児の理解と援助(2) (ADHDー注意欠陥多動性症候群・LDー学習障害等)</b>
	注意欠陥多動性症候群・学習障害のある子どもの特性とその保育・援助について理解する
10	<b>医療的ケア児の保育の現状と地域支援／配慮を必要とする子どもの理解と援助(1)</b>
	医療的ケア児の保育の現状と行政の施策及び地域資源を理解する。愛着形成に課題をもつ子どもの心と育ちを理解する。心の育ちを支える自尊感情について演習をとおして理解する
11	<b>配慮を必要とする子どもの理解と援助(2)</b>
	発達論をベースにした支援方法について演習をとおして理解する
12	<b>配慮を必要とする子どもの理解と援助(3)</b>
	子どもの行動の意味を理解し適切な行動を増やす支援方法について演習をとおして理解する
13	<b>配慮を必要とする子どもの理解と援助(4)</b>
	環境調整による支援の方法について演習をとおして理解する
14	<b>配慮を必要とする子どもの理解と援助(5)</b>
	周囲の人の連携による支援の方法について演習をとおして理解する
15	<b>前期・演習のまとめ 発達を促す遊びの体験</b>
	前期の障害児保育の演習のまとめを行い、知識・理解を深める。発達を促す遊びを体験し考察する
16	<b>後期オリエンテーション 障害児保育の学修と保育実習を照らし合わせた振り返り</b>
	後期オリエンテーション。前期の障害児保育の学修と保育所等実習における経験を照らし合わせ、考察し理解する
17	<b>支援の方法を考える(1)</b>
	支援の実際を学び、演習をとおして具体的な援助方法を考える
18	<b>支援の方法を考える(2)</b>
	支援の実際を学び、演習をとおして具体的な援助方法を考える

19	<b>集団生活と遊びの援助(1) 手作り教材作成と発表</b>
	配慮を要する子どもに親しめる教材を作成し、保育者役と子ども役と共に楽しめる保育の実際の発表を通して実践する
20	<b>集団生活と遊びの援助(2) 手作り教材作成と発表</b>
	配慮を要する子どもに親しめる教材を作成し、保育者役と子ども役と共に楽しめる保育の実際の発表を通して実践する
21	<b>集団生活と遊びの援助(3) 手作り教材作成と発表</b>
	配慮を要する子どもに親しめる教材を作成し、保育者役と子ども役と共に楽しめる保育の実際の発表を通して実践する
22	<b>障害児保育の記録と評価</b>
	障害児保育における記録の意義・活用・評価について理解する。演習をとおして実際に記録を録り振り返る
23	<b>個別の指導計画について</b>
	障害児保育における個別の指導計画の概要と指導計画を立てる際に必要な考えや作成方法を知る
24	<b>個別の指導計画の作成</b>
	個別の指導計画の意義を知り個別の指導計画の作成プロセスを理解し演習をとおして作成する
25	<b>ロールプレイ 支援会議に参加する</b>
	障害のある子どもや保護者を支援する関係機関の「支援会議」のロールプレイを体験し、各々の機関の役割を考える
26	<b>保護者や家族に対する理解と支援</b>
	障害のある子どもの保護者や家族への支援の方法を知りグループワーク演習をとおして保護者支援の実際を体験する
27	<b>小学校・特別支援学校との連携と就学の流れ</b>
	子どもの育ちを連続的に支援するための小学校・特別支援学校等との連携・移行支援について考える
28	<b>障害のある子どもの保健・医療・福祉施策と地域の社会資源との連携</b>
	障害のある子どもの保健・医療・福祉施策と地域の社会資源との連携における現状と課題について考える
29	<b>これまで学んだ知識や技術を駆使して総合的に学ぶ (1)グループワークによる演習課題への取組</b>
	グループワークによる演習課題に取組み、検討結果についての発表の準備をする
30	<b>これまで学んだ知識や技術を駆使して総合的に学ぶ (2)グループワークによる演習課題への取組</b>
	グループワークによる演習課題への取組の検討結果を発表し合い学修のまとめをする